さらわれた兄よ

――残された妹の歌――

槇本楠郎

青空文庫

まるで野中の鶏小舎を襲う野犬のように
奴等は一言も吠えず踏込んで来た
寝ていた兄はガバとはね起き
突嗟に雨戸を押倒して奴等を踏みつけた
けれど奴等は一人ではなかった
すぐ躍りかかる奴があった
兄は組み敷かれた
兄は引っ立てられた
奴等は遂に兄をかっぱらって行ってしまったのだ
それは今朝の五時頃だった

うす明りの今
藁屋根に下る牙のような氷柱は
しずかにとけて唇を指ではじくような
しめっぽいやわらかい音を立てている
踏みにじられた貧しい住居は
古蒲団に泥靴の痕を残し
兄の寝床は藻抜けのまま冷え冷えとさらされている

妾(わたし)はただ一人だ
お櫃(ひつ)の飯は柘榴(ざくろ)の実のように凍り
湯をかけても喉をこさない
しずかに天井を鼠が走り
茶碗の湯気が頬を撫でる

妾はくやしさで胸が一ぱいだ

何故「兄弟」に呼びかけることが悪いのか？
何故わたしたちが自分たちの党をつくり
党を守ることが悪いのか？

兄よ
さらわれて行った兄よ
あなたの後へはすぐ続く者がある筈だ
あなたをこぼれ種子に捨て置く筈がどうしてありましょう
どうかお心丈夫に
わたしたちも今にこのしかえしはして見せる
奴等を迎え討つ！
それはわたしたちの力の充実した時果たされるのです
わたしたちは党の力を充満させよう
そしてわたしたちは必ずあなたを取返す
今に、きっと今に！

（『戦旗』一九三〇年三月臨時増刊号に発表）

青空文庫情報

底本：「日本プロレタリア文学集・39　プロレタリア詩集（二）」
新日本出版社
　　1987（昭和62）年6月30日初版
底本の親本：「戦旗」全日本無産者芸術連盟本部
　　1930（昭和5）年3月臨時増刊号
初出：「戦旗」全日本無産者芸術連盟本部
　　1930（昭和5）年3月臨時増刊号
入力：坂本真一
校正：雪森
2014年6月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

さらわれた兄よ
――残された妹の歌――

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　槇本楠郎
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/